

早いもので、もう令和2年も最後の月になってしまいました。何かと慌ただしくなってきましたが、ご家族皆様ご健勝で新年を迎えましょう。さて、防災タイムズ第44号では、8月に行われました防災あんしん調査結果と、災害時の在宅避難についてご紹介させていただきます。

○第17回 防災あんしん調査票 集約結果

10月に第17回防災あんしん調査票の集約を完了しました。

今回の調査票の回収率は87.4%と、前年度の83.5%に比べ3.9ポイント向上し、データ集計以来最高の回収率になりました。趣旨を理解しご協力いただきました住民の皆様には厚く御礼申し上げます。

調査票の目的は災害発生時にいち早くご近所の安否を確認し、より迅速な救命救護への活用や、救援物資・救援金の適切な配分などに使用するものですので、さらに多く回収できるよう、今後も検討を進めていきます。

なお、防災あんしん調査票は平和が丘学区独自の取り組みですが、H23年の東日本大震災以降、行政や他の学区等からも特に注目されています。

(1) 回収結果

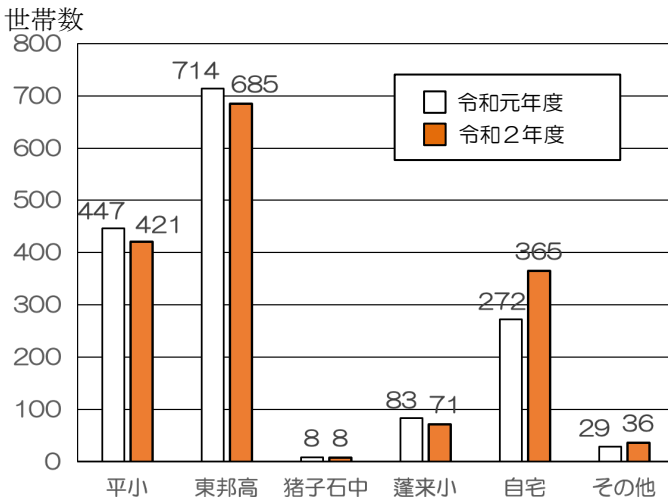
| | 配布 世帯数※1 | 報告 世帯数 | 調査票 回収率 | 総人数※1 (報告人数合計) | 一世帯あたり 平均人数 | 75歳以上 世帯数 | 要援護者 人数※2 |
|-------|-------------|-----------|------------|-------------------|----------------|--------------|--------------|
| R02年度 | 1,879世帯 | 1,643世帯 | 87.4% | 4,227人 | 2.57人 | 510世帯(31.0%) | 142人(8.6%) |
| R01年度 | 1,958世帯 | 1,634世帯 | 83.5% | 4,130人 | 2.53人 | 466世帯(28.5%) | 130人(8.0%) |

※1：調査票の配布ができない管理マンション等があるため、配布世帯数および総人数等は学区全体の
 正値より少なくなっています。 (※2：要援護者人数/報告世帯数)

75歳以上の高齢者がおられる世帯は学区全体で31.0%と、昨年度28.5%に対し2.5ポイント増加しており、5つの自治会で昨年度より世帯数が増加していました。

また、災害時に何らかの援護(介助)が必要な方が、昨年度より12人増加し142人となり、自主防災会やご近所同士での助け合いが一層重要になります。日頃から顔の見えるお付き合いをお願いします。

(2) 避難所への避難世帯数



○平成30年度から「自宅避難」を項目に追加したことで、各避難先への避難人数は減少したが、依然として平小と東邦高校に集中。

○自宅避難は増加しており、災害後も自宅で居住が継続できる状況であれば、自宅避難をお願いします。

○課題

- ・平小・東邦高校への集中対応
- ・かつ避難所収容能力不足分及びコロナ感染防止の対応
- ・自宅避難の理解浸透

○なお、蓬来小学校は、平和が丘学区の防災委員等係員は出向きませんので、ご注意ください。また、コミセンは要援護者用の避難所として活用することになっています。

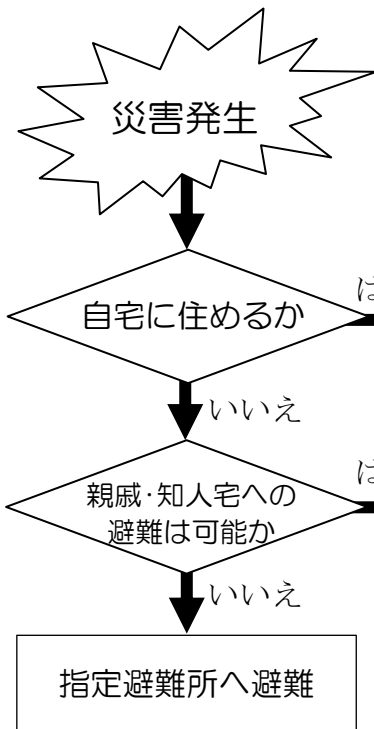
○コミセン運営委員会の役割と活動

コミセン運営委員会は8名で構成され、多くの利用者の方々が気持ちよく利用できるよう、各種の利用規定の制定や周知、建物の管理、備品什器の保守や補充、日常発生する諸問題の解決等、多岐にわたる課題を委員会で協議しています。さらに、日常業務は委員会の下14名のボランティアの人たちが「管理スタッフ」としてその任にあたっています。



現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の休止を余儀なくされている講座も少なくありませんが、17の講座が再開されています。再開にあたっては、名古屋市のガイドラインに従って、コミセン利用をお願いしています。マスク着用、スリッパ持参でご利用ください。

□防災お役立ち情報（在宅避難(自宅避難)）



私たちの住む平和が丘学区は、次の特徴があります。

- ①100年以上経過した住宅が無い。②木造住宅が少ない。
- ③津波・洪水の危険性が少ない。④名古屋市のハザードマップでは、土砂崩れや建物倒壊の危険地域が他学区より少ない。

これらのことから、平和が丘学区内は、自宅で在宅避難できる世帯割合が他の学区と比べて多いことが挙げられます。

一方、平和が丘学区で避難所として指定されている施設の収容人数には限りがあり、全員が入ることは不可能です。(表1)

また、避難所は普段より3密(密閉・密集・密接)の状態に近く、衛生状態も悪くなりやすいところです。

新型コロナウイルス感染症への対応が必要な今、自分自身が感染するリスクを減らし避難所が過密状態になることを防ぐためにも、自宅での安全確保が可能であれば「在宅避難」を検討しましょう。また、もし自宅での安全確保が難しければ、親戚や友人宅などへの避難も検討しましょう。

- さらに、在宅避難をするために、①食料や水など必要なものの備蓄(7日分が目安)、②非常持出品に「体温計・マスク・アルコール消毒液・スリッパ・ゴミ袋」をプラス、③住宅の耐震化、④家具等の転倒防止対策などの準備をしておきましょう。

表1：平和が丘学区および周辺の指定避難所収容人数

| 指定避難所 | 指定避難所 収容人数 (※1、※2) | (参考)第17回防災あんしん 調査票での避難者数(※3) | |
|---------|--------------------------|---------------------------------|--------------|
| | | 世帯 | 世帯×2.57人(※4) |
| 平和が丘小学校 | 315人 | 421世帯 | 1,082人 |
| 東邦高等学校 | 706人 | 685世帯 | 1,760人 |
| 蓬来小学校 | 295人 | 71世帯 | 182人 |
| 猪子石中学校 | 436人 | 8世帯 | 21人 |

※1：名古屋市地域防災カルテ(平和が丘学区、宮根学区、蓬来学区各令和2年10月1日)より

※2：収容人数は新型コロナウイルス感染防止のため、さらに少なくなる可能性があります。

※3：他学区からの避難者数は含めていません。

※4：第17回防災あんしん調査票 1世帯あたりの平均人数より

<編集後記> 今年は7月の大雨により九州や岐阜県下呂市で土砂崩れなどの災害が発生しました。大雨や台風・地震の発生を防ぐことはできませんが、人的被害は日頃の備えや訓練で最小限にとどめることは可能です。新年を迎える準備に災害対策も加えていただき、十分な備えで新年を迎えましょう(編集 前島)

